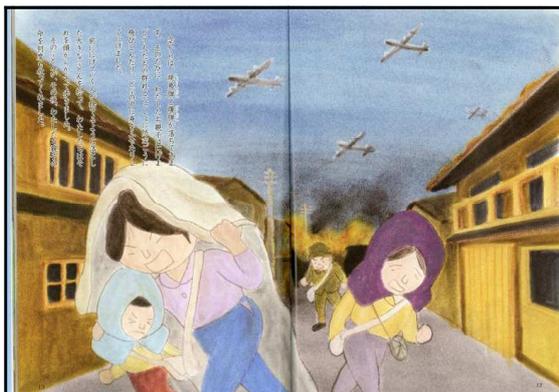
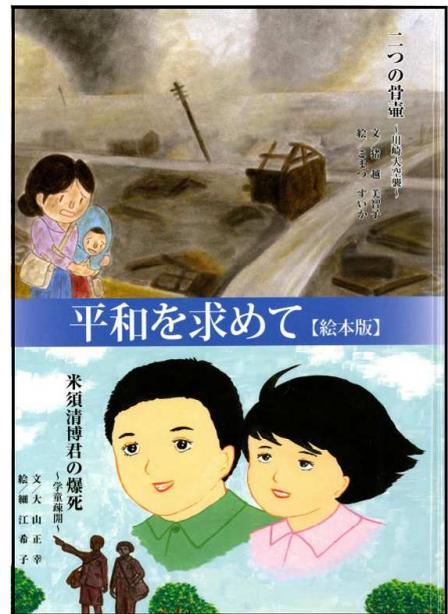


平和教育資料 「平和を求めて」 絵本版

伝えよう子どもたちに、平和の大切さを

～4. 15川崎大空襲のとりくみに向けて
1945年4月15日は、川崎にとって忘れてはならない日です。それは今から72年前、太平洋戦争において川崎大空襲が行われた日です。川崎区から中原区あたりにかけて激しい爆撃や焼夷弾が落とされ、およそ3万5千もの家屋が消失し、死者千人余りもの壊滅的な被害を受けました。また、多くの子どもたちが親もとを離れ伊勢原市の大山へ疎開したりなど、苦しく寂しい生活を余儀なくされました。この度、川崎大空襲を体験された方々の証言をもとに平和教育の資料として絵本を制作しましたのでご紹介します。様々な機会を通して子どもたちに平和の大切さを伝えていきましょう。



「二つの骨壺～川崎大空襲～」より

空からは、焼夷弾と爆弾が落ちてきます。そのたびに、わたしたち親子はにげまします。人たちの群れといっしょに防空ごうに飛びこんだり、どぶの中に身をふせたりしてにげました。前にげていく人が捨てるように落とし、た大きになふとんを拾って、わたしたちはそれを頭かからかぶって歩きました。そのふとんが、その後、わたしたち親子の命を何度も救ってくれました。



「米須清博君の爆死～学童疎開～」より

子どもたちといっしょにごはんの用意をしまし、お母さんと一緒に行きます。飛行機が近づくと音が来るといいます。「飛んできたよ。この音が近づくと音が来るといいます。」とき、その音が変化しました。私、声で、しつと「爆弾だ！ふせろ！」と叫びました。うみにふせられ、子どもたちはあの上を駆けまわります。音と風がまわります。

「平和を求めて」絵本版は、多くの方々のご証言やご協力を得て2016年3月31日に、川崎市教職員組合・第6次平和教育検討専門委員会が編集し発行しました。また、定期的に平和教育の学習会を開き、平和に関わる意見交流を行っています。絵本の購入や学習会の参加についてご興味のある方は、川教組本部 ☎044(433)9101までお問い合わせ下さい。絵本の価格は、1冊1,000円（組合員価格）です。B5版47ページ